

生涯学習センターみなくるが グランドオープンしました



主な部屋の紹介



親子活動室

小さな子どもたちの遊び場として、自由に利用できます。

すすく学級を開催したり、イベント時の託児室としても利用することができます。



ホワイエ

施設正面となる南側壁面は、ほぼ全てがガラス張りの明るい空間です。

町民の交流と憩いの場を目指して、図書やインターネット接続が可能な公衆無線LANなどを設置します。

また、親子活動室と併せて、子どもたちのための大きな遊び場にもなります。

トイレ／バリアフリートイレ／幼児用トイレ

たくさんの方が集まる施設には、たくさんのトイレが必要となり、生涯学習センターでは、大勢が参加するイベント時にも対応できる十分な数とさまざまな種類のトイレを設けています。

特に、車いすで利用ができるバリアフリートイレは、オストメイト対応設備や、子ども連れの方にとって便利なおむつ替えシート、ベビーチェアを備え、1階に3カ所、2階に1カ所設けています。また、うち1カ所は大人も横になる事ができるユニバーサルシートを備えたトイレになっています。

この他にも、1階の親子活動室には幼児用トイレを併設するなど、個人の状況に合わせてさまざまなトイレを選ぶことができます。

ホール

コンサートや発表会、講演会などが可能なホールは、移動観覧席・ハンディキャップ席を含め603席を備えています。

席を収納した場合には、平場の会場としても利用することができます。

1階



リハーサル室

大小2つあるリハーサル室は、防音となっており、カラオケや合唱、ダンス、軽運動など人数によって部屋を選択することができます。

特にリハーサル室1は、音響照明装置を備えていることから、小規模コンサートや発表会を開催することもできます。



団体活動室

サークルやボランティア団体、町内会などの事務作業ができるよう、事務機器や資料、インターネット回線を備えた部屋になっています。

少人数の打ち合わせも実施できます。



4月1日からプレオープンしていた生涯学習センターみなくるでは、公民館機能の向上に加え高齢者などが利用するサロンや、子どもから大人までのつどいの場、ボランティアの活動拠点などさまざまな機能を1カ所に集約しました。

矢臼別演習場周辺まちづくり構想の基本概念である「つながり、ささえあい、はぐくむ、構造交流のまちづくり」を実現するため、公共施設や小売店が集まる別海市街地の中心部に位置し、子どもたちから高齢の方まで、さまざまな世代が利用しやすい場所となり、まちのにぎわいが感じられる交流のまちづくりに引き続き取り組みます。

陶芸室／木工・美術室

多様な文化芸術活動に取り組むことができるよう、専門的な機材を導入した木工・美術室と陶芸室を設置しました。

旧中央公民館にはなかった陶芸窯や、1枚の木板から型を切り抜く木工用工作機器などを配備し、さまざまなことに対応できます。引き続き一般の方も利用可能ですので、気軽にお声がけください。



会議室1・2

会議室1は最大で90名、会議室2は最大で40名まで利用することができます。会議室1と2は、一体的に利用ことができ、全町的な団体の総会や展示会などにも利用することができます。



和室・茶室

最大で60名が利用可能な和室は、団体の会合やサークル活動などに利用することができます。

また、和室の一部には、茶室としても使用できるよう水屋なども備えています。



ふれあいいきいきサロン

旧消防庁舎前にあるふれあいいきいきサロンが生涯学習センター内に移動しています。

サロンが開設していない時間帯は、一般の方も利用できます。

誰にでも、快適な施設を目指して

生涯学習センターは、エレベーターやバリアフリートイレの設置だけでなく、音声案内や補聴援助システムを設置するなど、多様な利用者の方が、安全に安心して利用できるよう配慮しています。

問合せ

生涯学習センター
TEL75-2146

【開館時間】

- ・生涯学習センター 午前9時から午後10時
- ・青少年プラザ 午前9時から午後6時



4月1日から生涯学習センターの付帯施設となり、名称もマルチメディア館から青少年プラザに変更となりました。

